

# 学校心理士会神奈川支部ニュースレター

## 第7号



2010年5月23日発行

発行責任者 岡田守弘

芳川玲子

〒259-1292

神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学文学部心理・社会学科

## 2010年度全国大会および神奈川支部総会について

すでに2010年度日本学校心理士会全国大会（神奈川）のお知らせが、お手元に届いていることと思います。そこにありますとおり、関東地域の東京、千葉、埼玉、茨城の各支部および神奈川支部が連合して2010年度全国大会を、8月21、22日に東海大学で開催いたします。大会準備委員会は神奈川支部役員が中心となっています。

昨年8月開催の大阪大会において、幹事会から神奈川開催の要請がありましたが、すでに21年度神奈川支部総会を終えていましたので、支部会員の意向をお聞きする機会がありませんでした。全国大会を開催するには2年間の準備期間が必要となりますが、日本学校心理士会の組織的手続きは途上段階ですので、神奈川支部役員会が対応しなければなりませんでした。

これまで、東京、関西、千葉、大阪の順に開催され、一昨年は日本教育心理学会総会が埼玉で開催されました。そうした諸般の状況から、神奈川支部役員会は2010年度大会のお世話をすることを決断いたしました。本来の手続きならば、本県で全国大会を開催することを支部総会で承認していただくべきところですが、事情をお察いただき事後承認をお願いいたします。

また、同封してある「紙面総会のお願い」に記しました2点、①支部総会の審議事項を書面でお諮りすること、②毎年6月に開催している研修会をこの全国大会に当てること、についてもご了承くださり、積極的に全国大会に参加くださるよう重ねてお願いいたします。

神奈川支部会員の皆様には、同封してあります総会資料（議案書「平成21年度事業報告(案)」 「平成21年度会計報告並びに監査報告」 「平成22年度事業計画(案)」 「平成22年度予算(案)」)にお目通していただき、ご意見、ご質問、ご異議等がございましたら事務局までお申し出ください。

神奈川支部会長 岡田 守弘

事務局： 東海大学文学部心理・社会学科 芳川玲子研究室気付け

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1

E-mail [ryoshi@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp](mailto:ryoshi@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp)

Fax 0463-58-0913

(参考)

1. 平成21年度事業報告 [研修会]

①第22回研修会 平成21年6月21日 ウィリング横浜  
テーマ：クレーム問題を乗り越える ―保護者と共に創る学校―  
講師：嶋崎 政男（東京都立川市立第一中学校校長）

②第23回研修会 平成21年10月18日 ローズホテル横浜  
〈設立10周年記念講演会〉

神奈川支部10年の歩みに寄せて ―学校心理士に期待するもの―

テーマ：学校心理士 ―これまで、そして、これから―

講師：岡田 守弘（帝京大学教授）

テーマ：神奈川の学校心理士 ―10年を振り返って そして これからの10年へ―

講師：内山 慶子（神奈川県立総合教育センター）

③第24回研修会 平成22年2月28日 相模女子大学

テーマ：非公開

講師：非公開

2. 平成22年度事業計画 [研修会]

①第25回研修会 平成22年11月21日（日）ウィリング横浜

\*テーマ、講師 共に未定

②第26回研修会 平成23年2月27日（日） 地区開催と連携

\*会場、テーマ、講師 共に未定



## 地区会報告

### 【21年度 横須賀・湘南地区会の活動を報告します】

2003年7月19日（土）に第1回の横須賀・三浦地区研修会を横須賀で開催してから今年度で8年目を迎えました。並木博先生（名誉学校心理士）を地区長とし、途中より藤沢・茅ヶ崎地区の会員の方にも声をかけて研修活動を行っています。

当初は年間4回、文献をテキストにして並木先生の指導・助言に基づく研修を行っていましたが、学校心理士会本部のポイント取得の指示に伴い、年間5回の研修会を開催しています。

（本部への申請方法等が不明確で行えていませんが…）

研修会の内容は年度ごとに異なりますが、近年は、各会員の事例の検討や心理検査の実施研修、犯罪に発展したケースの心理状態の読み取り（精神科医の仲村先生に年1回講師を依頼しています）等を行っています。

22年度は、第1回5月15日（土）、第2回6月26日（土）  
第3回12月4日（土）、第4回1月22日（土）、第5回3月5日（土）  
に、それぞれ午後1時から開催します。

第1回・2回は、3月にイギリスで研修してきた会員からピアカウンセリングについて報告を伺うことにしています。

毎回、少人数で行っていますが、内容は「濃く」、たくさんのお土産を得ています。

（報告： 北村）



## 本の紹介

### 「子どもの社会的スキル横浜プログラム 個から育てる集団作り51」 横浜市教育委員会 (株)学研教育みらい 1,575円(税込)

子どもたちが、いじめ問題や日常生活の様々な課題を自らの力で解決できるように、年齢相応の社会的スキルを育成することを目的に開発した51編の指導プログラム集

- 本書の特徴
- ・3つの基本体験（被受容体験・がまん体験・群れ合い体験）の不足によって積み残された発達課題（基本的信頼・自律・自他理解）を、「自分づくり」「仲間づくり」「集団づくり」の3つのアプローチの視点から育成補充を図ります。
  - ・学級や子どものアセスメント機能を備え、個人や集団の課題を分析し、教職員によるカンファレンスを通して必要な指導プログラムを選択して実践できる構造になっています。全国大会の講座でも横浜プログラムが取り上げられます。

### 「発達障害とその周辺の子どもたち」 尾崎 洋一郎 同成社 1,680円(税込)

はっきりとその症状だとわかりづらい特別な教育的ニーズのある子どもたちへの対応と、教師や親が各々の特性を正しく理解し指導するためのヒントを、図を中心にまとめた平易な手引書。

「障害特性の基礎知識」には、図と地の混乱、統合困難性などについて触れられています。

「発達に関する基礎知識」では、身体概念を育てる大切さについて述べ、具体的な教材の並びについてイラスト入りで書かれています。明日から使える内容ばかりで、お薦めの一冊です。

姉妹編：「学習障害（LD）及びその周辺の子どもたち」

「ADHD 及びその周辺の子どもたち」

「高機能自閉症・アスペルガー症候群及びその周辺の子どもたち」各 945円

## お知らせ

[神奈川支部 ホームページについて] アドレス <http://www.sp-kanagawa.net/>

ご要望の強かった支部ホームページが開設されました。今後みなさまのご意見をいただきながら作っていきたいと考えています。ご協力のほどをお願いいたします。

### [2010年度全国大会について]

5月14日現在の参加申込が約140名ですので、ポスター発表及び研修会参加の申し込み期限を6月24日（木）に延期いたします。多くの神奈川支部会員が大会に参加あるいはポスター発表をしていただきたいと強く望んでいます。参加・発表をお考えの方は早急に申し込みいただけると幸いです。なお、諸費用の払込期限およびポスター発表論文集原稿の送付期限は6月30日（水）です。

#### 大会プログラムより

##### 研修内容

- |     |              |                     |
|-----|--------------|---------------------|
| 21日 | 基調講演：拓く、つながる | —学校心理士の未来へ—         |
| 22日 | 研修会（午前・午後）：  | 1 子どもの社会的スキルへの発達支援  |
|     |              | 2 後期中等教育における支援教育    |
|     |              | 3 地域支援              |
|     |              | 4 発達障害              |
|     |              | 5 学習支援に対するコンサルテーション |
|     |              | 6 教育相談・生徒指導での教育的対話法 |

大会案内（アドレス <http://taikai.sp-kanagawa.net/> ）を是非ご覧ください。  
そちらより、直接申し込みができます。ご利用ください。

## お尋ね

神奈川支部のみなさまに各種通知を出させていただいていますが、以下の方々の送付先・連絡先が不明です。ご存じの方は事務局までご連絡ください。

小沢 明子	岩井 美香	堀川 恭道
永野 明子	富樫 ひろみ	

### 編集後記

22年度の神奈川支部は全国大会の運営を控えており、毎年6月に行われていた総会を書面にて行わせて頂くということで、みなさまにはご迷惑をおかけいたしました。今年度、新たに支部の仲間になられた会員のみなさまとの顔合わせが「全国大会の会場で」ということになるかもしれません。大会案内の岡田支部長の挨拶にあるように「神奈川らしいおもてなし」を多くの支部会員のみなさまと行いたいと思っています。

また、このニュースレターですが、今年度はあと2回の発行を予定しています。ニュースレターと支部ホームページを使い、みなさまとのコミュニケーションの充実を図っていきたいと考えています。

今年度も、よろしくお願いいたします。 E-mail: [ryoshi@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp](mailto:ryoshi@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp)（編集部）

